

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和7年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	嶺南 CO2 フリー水素サプライチェーン構築事業
補助事業者名	福井県、敦賀市、おおい町、一般社団法人ふくい水素エネルギー協議会 北陸電力株式会社、関西電力株式会社、株式会社東芝、トヨタ紡織株式会社
補助事業の概要	福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議で示された「ゼロカーボン牽引する地域」という嶺南地域の将来像の実現に向けて、嶺南地域での水素利用の定着・産業化を目指し、地産地消 CO2 フリー水素サプライチェーン構築に向けた水素製造や水素エネルギーの住民理解を促進する水素利活用実証および原子力由来の嶺南産 CO2 フリー水素の大阪・関西万博における活用および PR を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消 CO2 フリー水素サプライチェーン構築に向けた水素製造</li> <li>・水素エネルギーの住民理解を促進する水素利活用実証</li> <li>・原子力由来の嶺南産 CO2 フリー水素の大阪・関西万博における活用および PR</li> </ul>
総事業費	226,252,919円
補助金充当額	225,804,605円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>嶺南産原子力由来 CO2 フリー水素の PR</u> 大阪・関西万博に関して、あらゆる広報機会・媒体を活用して情報発信を行い、国外・全国、特に関西地域を中心とした約 2222.5 万人に対して、またその背景にある約 600 社以上の関西企業に対して、PR・地域ブランディングを行う。エネルギー構造転換に関する嶺南地域の理解を促進することで、カーボンニュートラルや水素事業に関心のある企業の誘致につなげていく。</li> <li>・<u>再エネ由来 CO2 フリー水素の PR</u> 本来系統電力(地域外)へ流れてしまう地域住民の卒 FIT 電源について、住民から再エネ電気を集め、水素製造に活用する取組みを通じて、再生可能エネルギーの地産地消を図りかつ、再生可能エネルギーや水素といった新エネルギーに対する理解促進や脱炭素化に向けた住民の行動変容を促す。</li> <li>・<u>嶺南地域における水素需要の創出 748 Nm<sup>3</sup>/年</u></li> </ul>
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>嶺南産原子力由来 CO2 フリー水素の PR</u> 大阪・関西万博の機会を活用し、本プロジェクトにおける取組みをあらゆる広報機会・媒体を活用して情報発信を行い、国外・全国、特に関西地域を中心とした約 2,100.8 万人に対して、またその背景にある約 600 社以上の関西企業に対して、PR・地域ブランディングを行い、ゼロカーボン牽引する地域としての魅力を発信した。</li> </ul>

	<p>・ <u>再エネ由来CO<sub>2</sub>フリー水素のPR</u>  地域住民の卒FIT電源を水素製造に100%供給（8月、9月）し、地産地消を図ったことで再生可能エネルギーや水素といった新エネルギー に対する理解促進につながり、卒FITの地産地消同意者が46名増加した。</p> <p>・ <u>嶺南地域における水素需要の創出 138.86N m<sup>3</sup></u>  （内訳）  FCVカーシェア実証に要する水素需要約…137.86N m<sup>3</sup>  若狭湾サイクリングルート等におけるFCサイクル走行実証に要する水素需要…1N m<sup>3</sup></p>		
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 （提案書から転記）	水素エネルギーの先進地であるという機運を醸成し、「ゼロカーボンを牽引する地域」として、人、企業、技術、資金（投資）が集積するエリア形成を図り、本事業により水素利活用の導入を検証し、実装に結びつけていく。 42,970 N m <sup>3</sup> /年		
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】	—		
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	福井県	契約（間接補助）の目的 契約の方法 契約の相手方（間接補助先） 契約金額（間接補助金額）	嶺南産原子力由来CO <sub>2</sub> フリー水素のPR 随意契約 （株）エム・シー・アンド・ピー 5,775,000円
	おおい町	契約（間接補助）の目的 契約の方法 契約の相手方（間接補助先） 契約金額（間接補助金額）	FCVの調達、カーシェアリング・普及啓発イベントの開催 随意契約 大日本ダイヤコンサルタント株式会社北陸支社 20,515,000円
	（一社）ふくい水素エネルギー協議会	契約（間接補助）の目的 契約の方法 契約の相手方（間接補助先）	水素ステーションの運営・保守・修繕管理 随意契約 日本海産業（株）

		契約金額（間接補助金額）	102,720,755 円
北陸電力(株)		契約（間接補助）の目的	再エネ地産地消サイト運営
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	(株) ふういのデジタル
		契約金額（間接補助金額）	1,430,000 円
東芝(株)		契約（間接補助）の目的	ステーション法定自主点検、補機点検、圧縮機点検、計器交換、カードル庫改造工事、水素充填シミュレーション業務、ディスプレイソフト変更、窒素レギュレータ手配作業
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	株式会社ウエキコーポレーション
		契約金額（間接補助金額）	6,535,100 円
		契約（間接補助）の目的	R&D センター管理運営
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	日本海産業株式会社
		契約金額（間接補助金額）	5,674,900 円
		契約（間接補助）の目的	遠隔リモート監視システムサービス費
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	東芝ビジネスエキスパート株式会社
		契約金額（間接補助金額）	61,182 円
		契約（間接補助）の目的	機械警備料
		契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	富山県総合警備保障	
	契約金額（間接補助金額）	169,400 円	

		補助金額)	
		契約（間接補助）の目的	遠隔リモート監視システム通信料
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	東芝ユニファイドテクノロジーズ（株）
		契約金額（間接補助金額）	34,100 円
	トヨタ紡織（株）	契約（間接補助）の目的	水素キャニスター・充てん装置の準備
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	株式会社サイテム
		契約金額（間接補助金額）	2,186,800 円
	関西電力（株）	契約（間接補助）の目的	水素ボンベカードル運搬・充填の実証支援
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	（株）ナカテック
		契約金額（間接補助金額）	11,184,800 円
		契約（間接補助）の目的	トラッキングシステムの研究開発および実証支援
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	BIPROGY（株）
		契約金額（間接補助金額）	47,850,000 円
		契約（間接補助）の目的	水素ボンベカードル運搬・充填業務の実証支援
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方（間接補助先）	岩谷産業（株）
		契約金額（間接補助金額）	9,570,000 円
		契約（間接補助）の目的	水素ボンベカードル運搬作業
		契約の方法	随意契約
		契約の相手方	宇野酸素（株）

		(間接補助先)	
		契約金額(間接補助金額)	770,000円
来年度以降の事業見通し	原子力由来のCO <sub>2</sub> フリー水素製造装置を活用した理解促進事業や地域課題解決型の水素の利活用実施検討を通じて、カーボンニュートラルに関心のある企業の誘致や水素エネルギーに対する地域住民理解を促進し新たな水素需要の創出を図る。また安定した水素製造手法や新たな水素運搬手法の確立による効率的な水素サプライチェーンの構築を図る。		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。